

平成 23 年度 消防本部 経営計画書



部署名	消防本部				
役職・氏名	消防長 柴田 佳明				
消防本部 経営方針					
部の使命	市民が安心して暮らせる「災害に強い安全なまちづくり」に積極的に取り組みます。 災害に強い安全なまちづくりの実現に向けて、消防施設の整備、火災・救急をはじめ各種災害に迅速かつ確実に対応し、被害の低減及び救命率の向上を図るとともに、各地域における防災力の強化に努めます。				
部の基本方針	防災意識の高いまちを目指して、災害現場での活動能力の向上を図ります。 防災意識の高いまちを目指して、住宅用火災警報器の全戸設置を促進とともに、地域防災力の向上を図ります。 防災意識の高いまちを目指して、事業所の防火防災対策の推進を図ります。 質の高い医療が受けられるまちを目指して、救急業務の高度化と救急救命士の継続養成を行います。 防災意識の高いまちを目指して、人材育成の推進に努めます。				
平成 23 年度 部のスローガン	「信頼される消防」				
部署内経営資源					
構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計 563,484 千円 (361,449) 千円
	69 人	-	69 人		

消防本部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況	
1	災害対応力の強化 現場経験の少ない若手職員を対象に実戦を想定した訓練を反復訓練させ災害対応力を高めます。 アナログ無線の使用期限を踏まえ、消防・救急無線のデジタル化の整備検討を進めます。	想定訓練の強化 電波伝搬調査に向けての調査検討			
2	火災予防の充実強化 住宅用火災警報器が市内全家庭に設置されるよう継続啓発を図ります。特に高齢者世帯、無関心層への働きかけを行います。 事業所や危険物施設への定期的な立入検査を実施し、違反是正に努めます。	住宅用火災警報器 設置率 90% 立入検査 事業所 120 件 危険物施設 40 件			
3	救急業務の高度化 救急救命士の継続養成と救急隊員の資質の向上を図ります。 救急車が必要となった時、現場に居合わせた市民が応急手当を施せるよう救命講習の普及推進を図ります。	救命士の生涯教育 達成率平均 85% 普通救命講習 新規受講者 150 人			
4	自主防災組織の育成と地域防災力の向上 東北地方太平洋沖地震の教訓を生かし、地震に加え津波災害を想定した防災訓練や地域での指導を充実し、災害発生時における自助共助の必要性を認識し、震災に対する意識を高めます。	自主防災会の訓練指導 指導件数 60 件			
5	人材育成 職員の意識改革に努め、広い視野に立ったものの見方・考え方や組織・体制づくりができるよう近隣都市などと人事交流を図ります。	積極的な意識改革と研修参加			

